

戦争特派員の足跡調べる

戦中写真で自由研究 ニースパークで参加

●の●さんは7月26日、横浜市中区日本大通のニースパーク（日本新聞博物館）を訪れました。企画展「報道写真を読む」を取材し、2階の製作工房で新聞をつくり、戦争を伝える写真や戦争と動物について理解を深めました。



●●●●
＝7月26日、横浜・日本大通の日本新聞博物館で

ニースパーク（日本新聞博物館）は2000年10月、日刊新聞発祥の地・横浜に開館。16年夏のリニューアルにより、体験と交流を通じて、情報

報社会を学べる施設になりました。19年4月には歴史と現代の両面から、確かな情報の大切さと新聞の役割を学ぶ展示に改修しました。
ニースパークには、約20万点の歴史的資料があり、3階の常設展示室

編集

●●●

●● ●●

なぜ動物が戦場に？

ニースパーク（日本新聞博物館）で、毎日新聞社の特派員が戦時中に撮影した写真を活用して、新聞づくりをしました。「動物はどうして戦争に巻き込まれたの？」などの疑問に記者から答えてもらいました。

毎日新聞特派員の写真で学ぶ

開催中の企画展「戦後80年・昭和100年報道写真を読む『1億人の昭和史』から『毎日戦中写真アーカイブ』への展示物や関連資料を使って「自由研究新聞」をつくりました。「なぜ特派員は危険な戦場に行った

の？」「動物はどうして戦争に巻き込まれたの？」などなど、参加者の質問に企画展を担当した毎日新聞記者が答え、それぞれの「研究の種」を探しました。作成した「自由研究新聞」を持ち帰り、これから夏休みを利用して各自、研究を深めていただくと嬉しいです。

